

蔵増北青壮年会だより
発行 第53号
平成22年7月20日

そうねん



発行人会長 森山美典
編集委員長 土屋博明
編集 機関紙編集委員会



合冊版掲載写真を選定する編集委員 H22. 3. 15

積土成山

《 地域と共に
それぞれの自分史 》

創立30周年記念事業
「そうねん合冊版」近日発刊

光陰屋の如し 本紙「そうねん」は、昭和六十一年に創刊号を発行して以来、二十四年目を迎えた。ことの始まりは「がんばっても活動が見えない。存在感を高め、会の活性化を図るため広報紙で啓蒙を」という主旨だった。

ここに三十周年記念事業で合冊版発行の運びに至る。430頁にもほり、四半世紀に近い地域のあゆみでもある。世代を超えた北住民の多数の方が紙面参加しており、そこには「地域と共に・それぞれの自分史」といえるものがある。

これは取材する方、受ける方、みんなが一つになって積み重ねてきた宝物である。そして、我々にとってまたあゆみ始める第一歩である。



大きな節目、創立三十周年記念祝賀会 旧来の仲間と和やかに。(天童最上川温泉ゆびあ)

つなごうおらだの地域づくり 蔵増北青壮年会創立三十周年を祝う

H22. 2. 14
天童最上川温泉
ゆびあ



「青壮年会は地域の活力」熱く語る近野会長

昭和54年5月8日、「蔵増北壮年会」の旗揚げのもとに93名が参加し、発会式を行って以来、三十周年を迎え、本年2月14日(日)最上川温泉「ゆびあ」で記念祝賀会を開催しました。来賓に市連合青壮年会会長 近野和弘さん、市立蔵増公民館長能澤義也さん、北区連合会の役員、歴代会長、20周年記念事業以降のOBの皆様をお招きし48名が参加して開催されました。近野会長さんは、「時に

は50〜60団体あった連合会も今は残念ながら22団体になっていく。蔵増北青壮年会さんは機関紙「そうねん」を定期的に発行しており、毎回私の手元にも届く。ボランティア活動やクラブ活動を通して人材を育てており、市連合会の見本となるものです。みなさんの活動は地域の活力につながるもので、これからも継続していただきたい」と祝辞を述べられました。その後、参加者の皆さんは温泉に入った後の祝宴なので、ゆつくりと楽しんで、昔を懐かしみ歓談していただきました。(秋保栄)



暑い夏を涼やかに 扇風機7台贈呈

記念事業を 振り返って

実行委員長 後藤賢次

2010年の区切りの良い年に祝いの会を開催することができ、これまで地域活動を築きあげてこられた先輩のみなさんに感謝いたします。その意思をつなぎ会員一同新たな気持ちで次の40周年に向けて邁進してまいりたいと思います。

- また、記念事業としては、昨年5月から実行委員会を組織して準備にあたり、3つの事業に取り組みました。
- ① 記念祝賀会
 - ② 北公民館に扇風機寄贈
夏場の暑さ対策として壁掛け扇風機5台、お座敷扇風機2台
 - ③ 「そうねん」合冊版発行
430頁の「地域と共に」・それぞれの自分史」として編集しました。多くの皆様から御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

よろしくお祈いします。

新会長 森山美典さん

多趣味で何にでも挑戦するチャレンジ精神が旺盛、中でも今一番夢中になっているのがジョギングだそうです。月2回の走遊会「青壮年会部活動」の練習では物足りず休日を利用し、また、仕事が終わって帰宅して暗くなってからも練習に励むなど本当に驚きです。これまでフルマソン1回、ハーフマソン4回に出場し、少しずつ記録が伸びて来ているそうです。



北青壮年会も時代の流れに添った活動の必要性を強く感じているとのこと。改革を図りながら「まずやってみる」ことを柱に会員が楽しめる活動になるよう企画運営に取り組みたいと語る。(聞き手 土屋博明)

総会の議事に先立ち、昨年退会されました今田光一さん、森山信之さんに感謝状贈呈が行われました。今田さんは平成16年度・17年度に会長を務め、今では恒例となつて「みんなまでビアパーティー」や、「盆踊りでの歌謡ショー」

など、次々と企画化し、今でも好評を得ております。森山さんは、平成元年度から3年度まで謡曲部長を務め、伝説の傘踊り・から傘踊りを見事に復活させました。議事では、30周年記念事業は21年度・22年度の2カ年で行いたいとの提案があり満場一致で決定されました。

今までは、伝統のある青壮年会で活動してきました。また、部活動への助成金も支出の中で一番多く予算化しております。しかしながら今年の部活動の入部申込みを行ったところ、各部署も部員数の減少が見られました。この傾向に危機感を抱き、活発な部活動をするために、各部長と二役で問題点や悩みを共有し、部員数増加に取り組みべく部長会を開催しました。

ご功績に感謝状贈呈

北青壮年会
平成21年度総会 H22. 2. 28



写真上から今田光一さん 森山信之さん

「魅力ある青壮年会」部長会で話し合う

各部長から色々な課題が報告されましたが、部員が楽しめるための独自の取り組みの紹介もあり、有意義な話し合いを行うことができました。それらの情報交換を踏まえ、部員勧誘のコメントと、各部の年間活動計画表を作成し、全会員へ呼びかけを行いました。これから、益々魅力ある青壮年会を目指して行きますので、皆様の協力をよろしくお祈いします。(森山美典)

新役員紹介

会長 森山 美典 (北二)
副会長 土屋 仁 (北二)
理事 佐藤 俊彦 (北二)
土屋 博明 (北二)
佐藤 春彦 (北二)
菊地 義盛 (北二)
今田 仁志 (北二)
土屋 光春 (北二)
佐藤 利光 (北二)
佐藤 伸一 (北二)

理事 山崎 稔 (北二)
山崎 正男 (北二)
監事 鈴木 光芳 (北二)
東海林 由人 (北二)
ソフト部長 土屋 忠治 (北二)
将棋部長 土屋 政美 (北二)
麻雀部長 熊澤 常也 (北二)
書道部長 佐藤 俊彦 (北二)
写真部長 大木 富雄 (北二)
野山を歩こう会 佐藤 春彦 (北二)
走遊会 山崎 進 (北二)
編集委員長 土屋 博明 (北二)
編集常任委員 秋保 栄 (北二)
山崎 昭夫 (北二)
土屋 久雄 (北二)



△新会長 森山美典さんを中心に「魅力ある活動を」。どうぞよろしく!

新部長紹介

よろしくお願ひしまあ



心ひとつにまとめ

新ソフトボール部長

土屋忠治 (北三)

この度、前任者の鈴木光芳さんから引き継ぎ、ソフトボール部長になりました土屋です。
私が青壮年会のソフトボール部へ入部したのは、高校時代に野球をやってきたからです。

青壮年会のソフトボール部の歩みを見ましたら、「東南村山大会優勝・二連覇・市連合ソフトボール大会三連覇(永久杯獲得)。そのほかにも輝かしい優勝の数々。また、べにばな国体デモンストレーションソフトボール大会への出場など先輩達は素晴らしい成績をおさめてきております。今後の活動として市連合ソフトボール大会があります。部長として初めての大会なので、皆さんの力を借りて、心をひとつにまとめ良い成績をおさめるようにがんばります。今後とも、みなさまのご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひします。

無理をせず 楽しんで

新走遊会長

山崎 進 (北二)

走遊会が発足して、今年で2年目になります。会員数は現在7名です。3月に年間活動の話し合いを行い、今年目標として6月さくらんぼマラソン大会、9月白鷹若鮎マラソン大会、10月長井マラソン大会にエントリリーすることになりました。



練習は、毎月第2、第4日曜日に堀端公園に集まり、練習場所まで車で移動し、16時から行っています。春から秋にかけては県総合運動公園の屋外で、冬場は、天童スポーツセンターの屋内を利用して約1時間のジョギングで爽やかな汗を流しています。各人のペースで走ることが出来ますので、少しずつレベルアップを図れると思います。興味のあるかたは、練習風景を気軽に見に来てください。運動不足の解消と健康管理にとっても良いと思います。

また、今年度から走遊会長として部活動にあたることになりましたが、会員の皆さんから協力をいただき、スムーズな活動を行っています。私は、趣味として六十代まで、あまり無理しないで楽しみながら走り続けたいと思っております。

情報化時代一緒に学習を

仮称「パソコン同好会」発足

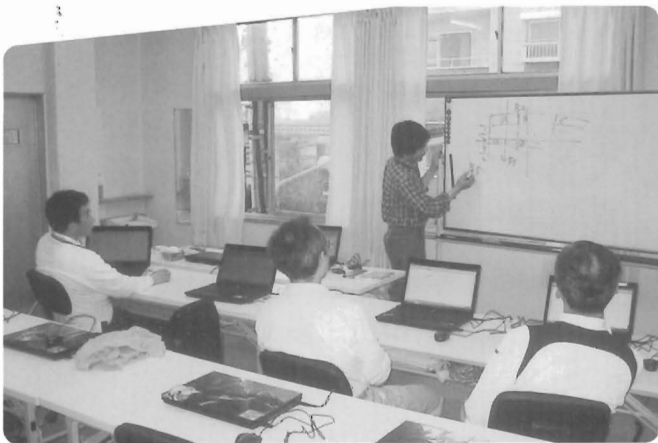
今年の部活動の入部申込みを取ったところ、パソコン部(名称未定)に5名の申込みがありました。初年度は同好会で活動を行い、翌年度には部に昇格できるように活動をしたと考えております。

早速初会合を開いたところ、パソコンを買ったが、まだ開梱していないとか、エクセルでマクロの使用を覚えたいとか、色々な意見が出ました。

活動としては毎月第四土曜日にやることにし、先生には、コンピュータの専門技術士、プログラマーの土屋久雄さん(北青壮年会員)にお願ひし6名での出発となりました。年間計画では、エクセルやワードの基礎を覚えること、インターネットに関すること、eメールやホームページに関すること、また、冬期間にはパソコン教室の参加者をオープンで募集することを計画しました。

趣味を広げ、情報化時代の波に乗りましょう。同好会に入会しなくても、スポーツでの参加も可能ですので、気軽に声を掛けてください。

(森山美典)



△土屋先生が分かりやすく説明。初心者でも気軽に参加を。

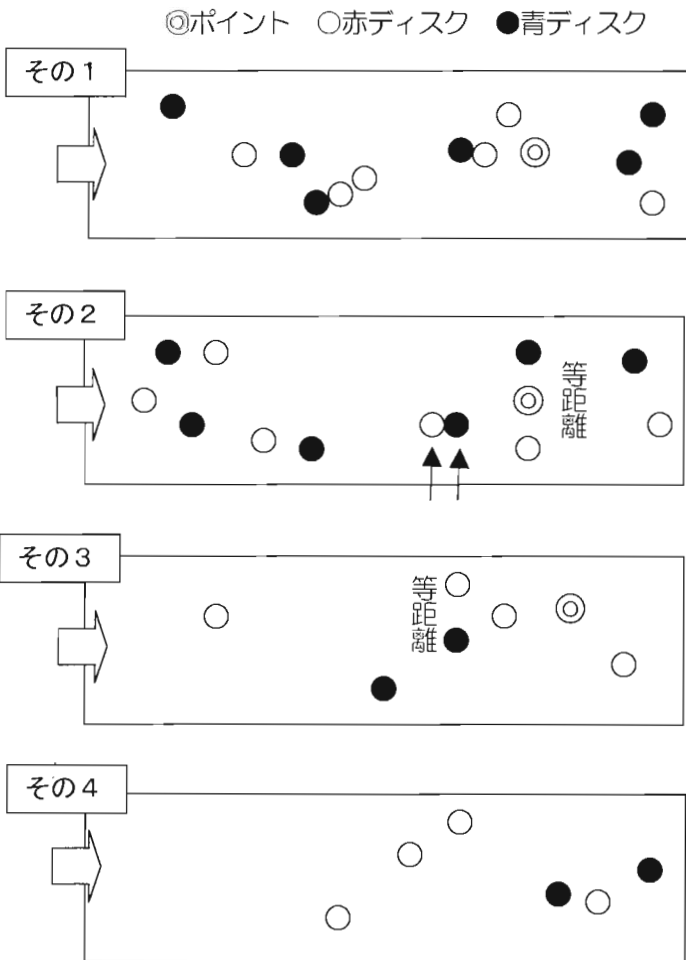


△ナイスショット久保田さん 北第3組優勢!

恒例の蔵増地区青壮年会レクリエーション大会が1月24日(日)に、市立蔵増公民館「集会室」で開催された。平成18年度から種目が「タスポニー」という球技から「ディスクコン」に変わり、大好評により4年目となる。

今回は北区から4チーム、12名の参加者があり、試合は午前9時に開始。結果は第2位に森山美典さん、奥山正男さん、秋保栄さんの北第一組。第3位に土屋博明、土屋大男さん、久保田豊さんの北第三

バンクローバー カーリングの大逆転劇 その感動 ディスクコンで体感



◎ポイント ○赤ディスク ●青ディスク

その1

その2

その3

その4

まだ投げていない赤ディスク ○○
まだ投げていない青ディスク ●●●●

組が入った。あと一歩のところまで優勝を逃したが善戦、まづまづの成績であった。今年の2月、バンクローバー冬季オリンピックで日本代表チーム青森が、第一次リーグ、対イギリス戦で最高の集中力、緊張感の中で見せた大逆転の戦いが、このディスクコンでもできるから面白い。

スコアの競技方法の一部を紹介したが、ポイント(◎印)に近い方が勝利することは理解いただけたと思う。さて、今回は、ディスクを投げ終わった後の状態を図に表し左記のように掲載したので、ご家族でちよつとの時間クイズ形式で採点してみてください。採点方法と勝敗は、次のとおりです。

採点方法と勝敗
【その1】赤○が、青●よりも2個、ポイント◎に近いので赤チームが2点勝ち。
【その2】ポイント◎には接近している赤○と青●は等距離なので除外し次に近いのは●↑で、その次は○↑なので青チームが1点勝ち。

【その3】等距離の赤○と青●は除外し、青●よりも赤○が2枚近いので赤チームの2点勝ち。
【その4】投げたディスクがポイント◎に当たり、ポイント◎がコート外に飛び出し、この時点でイニングは終了。まだ投げていない手持ちのディスク数の差で採点する。青チーム●の2点勝ち。(同数の場合はノーゲームとなり、再試合)

論より証拠、実際には最初のゲームからすんなり入ることができ、一喜一憂して楽しめます。来年は是非皆さんの参加をお待ちしています。

(土屋博明)



△ポイントにより近く。集中して一発逆転。

土屋(政)将棋部長乱入し 親満連発優勝さらう

北区新春麻雀大会

第9回大会が1月17日に北公民館で行われました。昨年は都合により開催できず、2年振りの大会です。参加者は13名。初参加の土屋忠明さん、土屋久雄さん、森谷定雄さんは久々の参加、土屋政美さんは第1回大会以来2度目の参加です。

の1位3箱、2位2箱、3位1箱が与えられ、さながらドイツシシ争奪戦。帰りには両手に持つての帰宅となり奥さんに喜ばれることに。

4回戦終了時点で佐藤武志さん・山崎稔さん・土屋政美さんの3人が3勝で並び、優勝決定は5回戦目での勝負となりました。

ルールは45分の時間制で2万7千点持ちの3万点返し(最初から3千点のマイナスなのでプラスになるのが大変)。5回戦を行い、その勝敗数を競います。早上がり、満貫にはドイツシシ1箱、半荘

その結果、なんと5回戦は佐藤博雄さんの一人勝ち。虎視眈々と優勝を狙った3人は共にマイナスに。優勝決定は3勝2敗の同率ながら親満を連発し52・7の最多得点を挙げた土屋政美さんが優勝となりました。土屋さんは将棋でも活躍しています。2位には山崎稔さん、3位佐藤博雄さん、4位斎藤勉さん、5位に佐藤武志さんが入りました。お昼は生寿司



△ すんません、将棋でもかかっていたのですが。



△ 熊澤部長さん、そんなに凄手なの？

を大変おいしくいただきました。(幹事さん会計大丈夫?) 懇親会は、お約束の鍋大会。今年も岩淵武男さんからいただいた旬の味覚どんがら汁、部で用意したもつ鍋、もつ鍋の苦手な久雄さんには湯豆腐が用意され、宴は大いに盛り上がり、来年の大会の盛況を願いました。岩淵さん、すごく美味しかったです。ごちそう様でした。麻雀は新聞の特集にも出ていましたけど、脳の活性化に凄い効果があるそうです。みなさん来年は一緒に楽しみましょう。(熊澤常也)

初小学生棋士参加

市連合将棋大会 要綱見直し

2月28日、春近し、穏やかな日和の中、天童北部公民館を会場に連合青年壮年会第35回将棋大会が開催された。近年参加者が減少しているとの

ことで、年齢を問わず地区住民の参加が今大会から認められ、小学生の参加もOKとのこと。8チームの参加の中、早々、3チームに小学生がいるではないか、それも女の子。ヤバイと思ったのは私だけではないだろう、不安渦巻き、誰が餌食になることか?

それでは結果報告。

初戦は強豪北久野本Aチームを突破したものの2回戦で千布チームに敗れ、3位決定戦にまわったが、残念ながら敗退。結局4位。因みに北チームからの生贄者はでませんでした。メンバーの、Kさん、Gさん、Mさん、Tさん、お疲れさまでした。来年は雪辱を!

北区新春将棋大会

佐藤繁雄さん優勝

毎年恒例の大会は、2月11日、10名の参加のもと北公民館を会場に開催された。

今年も白熱した対局が予想されたが、中でも久方ぶり参加の佐藤(繁)さんがどのような戦いをするかで優勝の行方は決まると思われた。

案の定「やはりあなたは強かった。」これもまた、久しぶり優勝決定戦に駒を進めた後藤(賢)さんのパワーをも吹き飛ばして、無キズの優勝であった。大会後、フル回転した頭脳に十分な栄養を補給しました。北区の皆さん、是非、来年は御参加ください。

(土屋政美)



△伝説の人、やはり強かった。ん〜ん爽ッ感!



△ウォーキング日和ですね～ 朝日連邦と月山が遠方に...

「やまね(天然記念物)」の行き倒れを発見した斜面は一面雪で、発見場所も判然としません。自由に雪上ルートを歩き頂上に到着です。残念ながら「やまね」は発見できませんでした。まだ冬眠中でしょうか。帰りはふきのとうを採取しながらのんびり下つてきました。

丘を超え 行こうよ 身体も心も健康に

《野山を歩こう会》

西蔵王公園
野草園

4月25日
(日・晴れ)
5名参加。西蔵王公園南駐車場からテレ

ビ塔のある丘に上がり、野草園をめざします。園内は

ミズバショウやザゼンソウが盛りでした。園内で昼食をとり西蔵王公園に戻りました。距離9km、良い運動になりました。



△「やまね」は冬眠中? 南面白山

南面白山(1225m)

5月3日(月・快晴)4名。今年の春は天候が不順で雪解けが進んでいません。去年、



△途中、鳥海、月山、朝日、遠くに舞鶴山が

新庄市の李蔵山(1026m)

5月30日(日・快晴)7名。登山口から沢に沿って登る。数ヶ所沢を渉る所があり、ちよつとした沢登りの気分。笹竹やわらびが豊富で、懇親会の肴にすることに。2時間で李蔵山荘に着く。ここからブナ林と笹原をぬけて、山頂に立つ。イワカガミやシラネアオイが咲く。鳥海山・月山・朝日岳・葉山・新庄の町、遠くに舞鶴山まで見渡せた。

昼食後、山菜を採集しながら下山。近くの奥羽金沢温泉で汗を流し、公民館で山菜のてんぷらを肴に充実した懇親会を11名で行いました。(佐藤春彦)

わたしの作品

《佐藤春彦さん輝毫》

客舎柳
色新
清墨 春彦

唐の詩人王維の七言絶句「元二の安西に使うを送る」の部分です。全文は「渭城の朝雨 軽塵をうるおし」

客舎青青 柳色新たなり君に勧む 更に尽くせ一杯の酒/西のかた陽関を出づれば故人無からんと詠まれます。古来から「送別の歌の代表作」として有名な詩です。わたしも数年前に新聞のコラム欄で知りました。気に入った詩が自筆で「そうねん」に載るのは嬉しい限りです。岩月啓次郎先生は、「客」、「舎」、「新」が見慣れない字体になっていてとおっしゃっていました。(佐藤春彦)

近所のニュース

倉津川西側の堤防が舗装された。目的は河川管理のためとのこと。散歩コースにも最適ですよ。

これからの行事

- ◎8月7日(土) 北青壮年会
- ◎8月8日(日) 北堀公園草刈り作業奉仕・北区盆踊り大会(舞台造り一区・撤回二区)
- ◎9月5日(日) 蔵増地区レクリエーション大会
- ◎10月23日(土)～24日(日) くらぞう文化祭
- ◎10月31日(日) 分館対抗駅伝大会



荒れた堤防がきれいに舗装されました。

近所のニュース

《くらそう寺まち 九か寺めぐり》

蔵増地域づくり委員会 H22. 3. 11 出版



私たちの古里を改めて見回してみたとき、この蔵増には多くの寺院があることに気がつきます。(西) 常得寺、(東) 常得寺、誓賢寺、西稱寺、見性寺、誓願寺、近辺だけでも六か寺あります。寺の由緒は先代の御住職さんたちから語り(書き)引き継がれており、多くの寺が文明時代にこの地に城を構えた城主倉津安房守に関係しております。

倉津氏の魅力と言えば、山形城主最上家の有力武将の一人で、戦では負けを知らず、有能で信心深く、寺社を手厚く加護しました。

現在の寺や道の配置、堀跡なども城下町の面影を残しており、私たちの生活に密着した文化遺産でもあります。この冊子を後世に語り伝える史料として活用していただければと思います。(蔵増地域づくり委員会 秋保栄)

北区の人

北1区

後藤 賢次 さん



後藤さんは、昭和30年生れの55歳、市役所に勤め、現在、市民課で住居表示や住民実態調査のお仕事を行っています。
お家族は、お母さん、奥さん、子どもさんの5人家族。そのほかの家族として二十七年も前から金魚を飼育中だそ

うで、玄関先の水槽では、数匹の丸々とした美形の金魚が悠々と泳いでおりました。
趣味は、囲碁将棋で、囲碁はテレビで観戦するだけになってしまったとの事ですが、将棋の方は、「噂の(酔)名人?」として活躍中です。青壮年会へは30歳のときに入会し、一番の思い出は市連合の将棋大会で優勝したこと、お昼にビールを飲んだら一気に強くなったんだそうです?
これまで将棋部長、監事、理事、副会長、「そうねん」の編集委員長と要職を歴任され、

平成20〜21年度に会長として、色々な事業に取り組み、中でも二十周年記念事業を無事成功裏に導かれました。漸く大役を終えホッとして、いるとの事ですが、近年の会員の減少が気掛かりなんだ。若い方の活動をもっともっと期待したいとの事です。第一線を退いても「一人一役」を請われ編集委員の一区委員を担っていた、だいております。
現在隣組長、衛生班長の役を務めておられ、衛生班長の仕事で大変なんだと嘆いておりました。しかし、まあこの辺は近所の仲が良くいい所だよ、とおっしゃっており、なりました。やっぱり蔵増が好きなんです(聞き手 土屋政美)

北区の人

地域活動の先頭に立つ北公民館運営委員会の方々に御紹介いたします。(敬称略)

- 連合会長 渡辺渡貴雄
 - 北一区長 桜井 和男
 - 北二区長 鈴木 幸雄
 - 北三区長 五十嵐俊一
 - 連合会会計 土屋 正
 - 青壮年会長 森山 美典
 - 消防団部長 佐藤 洋重
 - 老人クラブ会長 佐藤 良藏
 - 婦人会長(一) 桜井エチ子
 - (二) 後藤 久子
 - (三) 土屋 町子
 - 子ども育成会長 久保田 豊
 - 交通安全協会 山崎 秀樹
 - 体育指導員(一) 山崎 潤
 - (二) 土屋 正賢
 - (三) 森山 一江
 - 北公民館長(一) 鈴木慶一郎
 - (二) 本間 和彦
 - (三) 森山 信之
- ※若妻会は平成21年度を以って活動を終了されました。永年にわたり牽引活動や交流活動に貢献され地域の活力を頂きました。
大変、苦労されました。

コーヒータイム

▽編集委員になり初めて「そうねん」でした。生活に終わって、原稿の締切りが迫ったとき、緊張は大変でした。次からは、早めの行動が重要と強く感じました。

それから、三十周年記念そうねん合冊版の編集委員会で、うまく版下が出来ないとの相談があった時に「みんなの手分けすれば出来ないことはない」という声が上がった。何なんだろう!この前向きさは、驚きと信頼感が一層深まった一面でした。(土屋久雄)

▽先日、子供の様子を窺いがてら車で東京に遊びに行ってきた。久しぶりの東京だったが、午前零時を過ぎても人の波は絶えない。東京という「東京タワー」しか思い浮かばない田舎者は、250mの展望台からビルだらけの風景を眺めて満足。更に、高所恐怖症にも関わらず大観覧車に乗る自分が分らない。人間というものは元来高いところが好きなのかも知れない。(土屋博明)



表紙題字 書道部長 佐藤俊彦(俊彦)書

編集委員
委員長: 土屋博明 ・ 常任委員: 秋保栄, 山崎昭夫, 土屋久雄 ・ 区選出委員: 1区 後藤賢次, 2区 土屋忠幸, 3区(兼) 土屋博明
部選出: 77外部 土屋忠治, 将棋部 土屋政美, 麻雀部 熊澤常也, 書道部 佐藤俊彦, 写真部 大木富雄, 野山を歩こう会 佐藤春彦
走遊会 山崎進